



あちらこちらに色とりどりの花が咲いてきました。ポーポキは、すべての香りを確認するのに忙しい！アレルギーの人にとっては大変な季節ですが、ポーポキは春が大好きです。

## Popoki's Hot News!

### ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、

『ポーポキ、元気って、なに色?』がきました！

お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、  
神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。  
ご注文、および感想をお待ちしています。



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのメイリードにゃんから届いた平和：

「毎朝、出勤するとき、踏切を渡ります。いつも踏切で立ち止まって、両側へ遠くまでつづく線路を眺めながら、大きく深呼吸をします。時々、世界が狭くて怖いと感じますが、この踏切での一瞬で、実は広くて美しいということ思い出します。この毎日の一瞬は、私にとって平和です。」  
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



ぼくのFB頁ができました!!! ぜひ観てくださいね！

[www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Project](https://www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Project) ポーポキピースプロジェクト/  
[1384738958444817](https://www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Project)



### いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』

(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！

\*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、  
<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



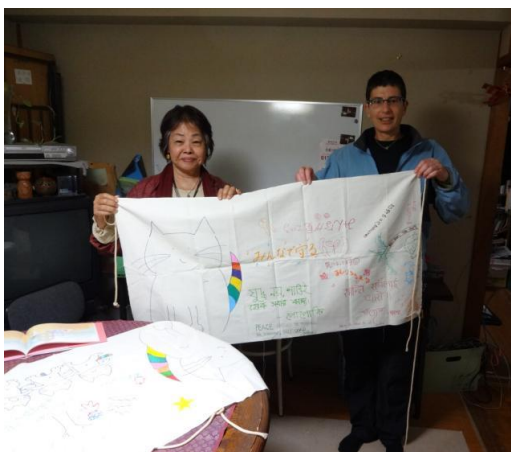
ポーポキ、まさにゃんとろにゃんとが沖縄へ！

3月20日～24日まで、ポーポキとろにゃんはまさにゃんと一緒に沖縄名護市の辺野古と高江地区へ行き、最期の日にな覇でなのはなにゃん、わびにゃん、りょうたにゃん、そしてあけにゃんと合流しました。ここでは、写真を中心にレポートします。

高江は、沖縄県北部にあるやんばるという亜熱帯森林に囲まれている集落です。同時に、米軍のジャングル戦争訓練場にも囲まれています。『ポーポキ通信』No.100にまさにゃんさんが書いたとおり、やんばるにヘリパッドの建設が始まっています。

本土にいと、「オキナワの基地問題」や「辺野古問題」ということばをしばしば耳にします。ポーポキは、以前からこの問題に関心を持ち、注意するように努力している

つもりですが、まさにゃんやあけにゃんに「標的の村」という映画を紹介され、高江のヘリパッド問題を含めて、自分の知らなさすぎを痛感しました。支援するためにはまず、行ったことがなかった高江へ行って、きれいな空気を吸って豊かな自然に触れて、守ろうとしている人々の話を聞くことから始めることにしました。ここで報告することによって、ポーポキの友だちにも関心を持ってもらって、支援することになれば幸いです。



先月のポーポキ通信で紹介したとおり、ポーポキのミニ平和映画祭や大槌町などで辺野古・高江それぞれの応援メッセージをみんなで作りました。それらを持って行って、辺野古・高江へ行く前に那覇市のスペースゆいで高里鈴代さんにお見せしました。高里さんは長年、基地周辺での性暴力問題や太平洋地域の反基地運動の前線にたっており、ポーポキが応援にきたことによるこんでもらいました。

高江での座り込みは約8年も続いています。

座り込みによってなにを守ろうとしているかを知るために、座り込み活動のほかに、やんばるの豊富な自然に触れ、そこで暮らしている人々と接することにしました。座り込みはシフトを組み、必要に応じて24時間体制で行っています。私たちが行ったときはちょうど建設が予定されている6つのヘリパッドのうち、2つ目の建設が終わっており、次は6月か7月頃に始まるらしい。作業に使った機材の搬出だけなので、座り込み活動は一段落ついていた時期です。ただ、中で米兵が演習していたので、彼らの生々しい姿を見ることができました。驚いたことに、ゲートに



メインゲートで車の出入りをチェックする那覇在住のボランティア。「止めるのは今しかない！」。見ているのは、ポーポキの新しい本。



はフェンスがありますが、グアムなどと違って、高江の訓練場は完全にフェンスに囲まれているわけではありません！つまり、立ち入り禁止区に入っているかどうかはわからないし、演習中の兵隊がどこにいるかもわかりません。兵隊が突然に森から出てくるという話を住民から聞きました。



高江で森を案内してもらった機会もありました。光らないホタルなど、知らない生き物がたくさん！外来種の話はよく聞きますが、自然が健全だと、外来種が来ても追い返されます。しかし、開発などによって自然が弱っていると、追い返す力がなくなれることを学びました。やんばるは、世界遺産に登録できるほど自然が健全ですが、基地があると管理できないので登録ができません。もちろん、ヘリパッドの建設や軍事演習のために森の中に道路をつくら

たりしているので、生き物の行き来も分断され、自然が破壊されてしまうのです。やんばるの森には、やんばるクイナ(写真)など、絶滅危惧種が生息しています。彼らにとって、もう一つの大きな脅威となっているのは、マングースの存在です。そのため、マングース罠があちこちに設置されています。初めて見たら「なんだろう」と思う人は私だけではないでしょう。なのに、基地周辺で見た罠に英語で DANGER と書かれているが、日本語はありません。ショックでした。

座り込みのテントにポーポキのメッセージを貼りました！片道2時間をかけて通っているボランティアに「どうしてきたか？」と聞いてみました。「ここは、新しくできるから今のうちに止めたい！緊急性がある。自然をどうしても守りたい」。座り込みすると仕事、買い物、用事いわゆる日常生活ができないと痛感しました。尊敬と共に、手伝いたいと思いました。



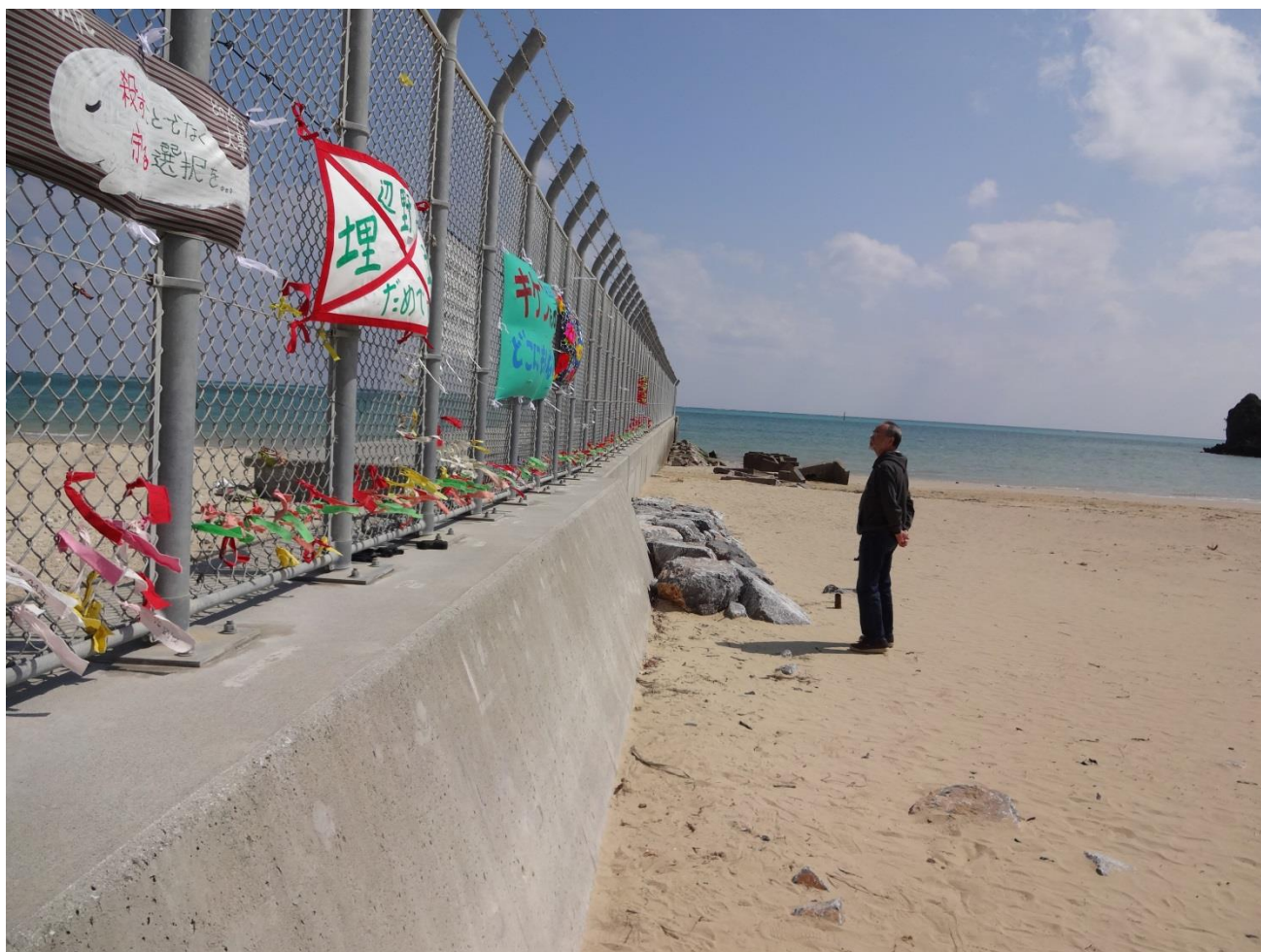
辺野古にもポーポキのメッセージを持っていき、18年間も続いている座り込みのテントに貼りました。本当はフェンスにつけたかったのですが、最近フェンスに貼られたものは直ちに米軍によって下ろされるそうです。それを聞いて、ポーポキがみなへの応援を長くできるように、テントの中に貼ることにしました。

長い間座り込み活動をしている人から現状を聞かせてもらいました。辺野古では、160ヘクタールの砂浜と海を埋め立てる予定です。砂はどこからくるのかな。なぜ、こんなことをしなければならないのかな。潮の流れはどう変わるのかな。ジュゴンや他の海の生き物はどうなるのかな。そもそも、住民がこれだけ反対しているのになぜ強行するのか、と。

青々と光る海と白い砂浜。大きなポーポキをたくさん描きました。そうしているうちに、武装した米兵がパトロールにきました。どうしてこんなところに基地をつくるのかな。砂に描かれたポーポキは、怒り。そして、訴え続けているのです。







写真：上と右下へ辺野古  
左下は高江。演習場のメインゲート付近



よかったら署名を集めてください

平成 25 年（ネオ）第 16 号 通行妨害禁止請求上告事件  
平成 25 年（ネ受）第 17 号 通行妨害禁止請求上告受理申立事件  
上告人（申立人） 伊佐真次  
被上告人

最高裁判所 御中

## 高江ヘリパッド建設反対運動弾圧訴訟の公正判決を求める要請

米軍ヘリパッド建設に反対する沖縄県東村高江住民の運動を「通行妨害」だとして国が伊佐真次さんを訴えている事件の 1 審、2 審の判決は、伊佐さんの主張をことごとく退けるきわめて不当なものです。

この問題の発端は、防衛省沖縄防衛局が住民の反対を無視して一方的に、高江集落をとり囲むようにヘリパッド建設を強行しようとしていることにあります。

この訴訟は、国が、ヘリパッド建設に反対する運動を弾圧する目的で住民を相手に起こしている前代未聞の訴訟（「スラップ訴訟」）です。「通行妨害」とされた伊佐さんの行為は、住民が平穏な生活を守るために、工事を強行する防衛局の職員に対して抗議の意思を表明した非暴力のものであり、これを禁ずる判決は憲法第 21 条が保障する表現の自由に対する重大な侵害です。

高江のヘリパッドは、日米両政府が配備を強行している危険な欠陥機オスプレイの着陸帯として使用されており、住民の不安と懸念はますます増大しています。

私たちは、最高裁が、高江の住民の置かれている実情をふまえ、被告の行動の事実を検証して、上告を受理し、国の不当な訴えを退ける公正な判決を出されるよう求めます。

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |

高江住民運動弾圧訴訟をたたかう伊佐真次さんの最高裁でのたたかいを支援する会

事務局 安保破壊中央実行委員会 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-11-13  
電話 03-3264-4764



<https://docs.google.com/file/d/0BwP1pRAf90URdDJBWTIRSkNScFE/edit>



## \* ポーポキのインタビュー \*

☆大槌町の人たちと出会って☆

3 回目の 3.11 の前に、大槌町の友だちたちに「元気」を届けに行きました(2014.3.8-10)

ろにゃん&さとにゃん

あの日から3年。

3年=1,095日=26,280時間=1,576,800分。

12歳の人なら1/4、3歳の人には100%の人生。

この時間は長いだろうか？アインシュタインが相対性理論の中で、時間の長さは同じではないと言っているように、人によって長さの感覚は違うだろう。

あなたはいかがでしょう。3年前を思い出してみてください。何をしていた、何を感じていたのか。この3年間で何があったのか。自分が成したこと、誰かがしてくれたこと、誰かにしてあげたこと。その時間は、あなたにとってどんな時間でしたか？

ふりかえってみたら、ポーポキにとっても私たちにとっても学びの深い3年間でした。

できたばかりの『ポーポキ、元気って、なに色？』を持って、3月8日～10日迄大槌町に行ってきました。3月の東北は寒く、新花巻には雪が残っていた！！大槌町は雪がないけれど寒い。-7℃のときも。桜にはまだまだほど遠い。

でも、ピンクの絵本がみんなの笑顔を誘います。



土盛り作業が始まった大槌町の沿岸部はまるで時間の止まった世界のように。青空とは対照的に、人間の世界には色もなかった（さとにゃん）あるいはグレーの一色（ろにゃん）。





行き止まり。迂回。見えているのは役場だが、行くことができない。お墓も一部が移動させられ、残った方にアクセスしにくい。「何もかも行きにくくて…。タクシーは儲かるけど…。」  
12月に行った荒巻サケのプレハブも、つどいの事務所も取り壊されていた。



看板によると、作業が終わるのは2015年9月30日。それからまた建設…。生活ができるようになるのは早くて3年かな。その間、ポーポキはどうしたらよいのだろうか？

3年間。あなたは震災のことを思い続けていますか？

ポーポキの友だちから、こういうことも聞きました。「前は、東北から来ましたというと、色々なイベント会場でどんな小さな物でも買って下さる方があった。でも、今はもう売れない。それに『未だ震災？』と言われることもある。何だかとても悲しくなりますね。」

それを聞いて、阪神淡路大震災の時にも同じような事があったことを思い出しました。ほとんどの場合、忘れているつもりはないのに、生活が…。



私たちが帰る時に「もう来ないんでしょ？」と言われてビックリ。「今まで来ていた人たちがどんどん来なくなるから…」。

「私たちは、また来ますよ。来ても良い？」と言うと、とても嬉しそうに笑ってくれました。



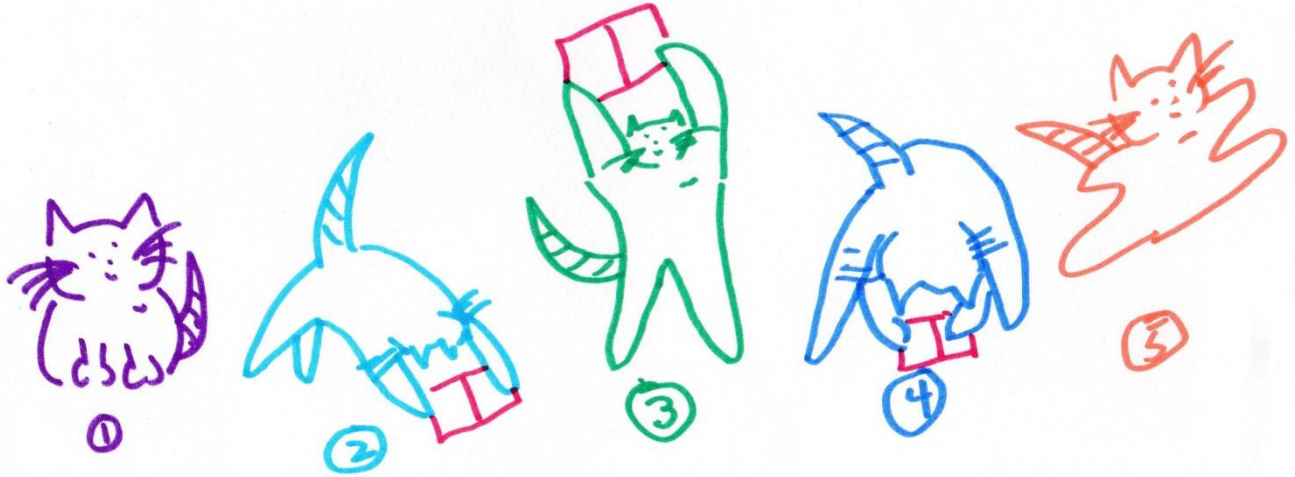
ポーポキには何が出来るのか。大槌のみなさんが直面している問題を解決することは出来ない。けれど、ポーポキはあきらめない。ポーポキの笑顔で元気や希望、それぞれの現場にいる人の気持ちを支えることは出来ると思う。これからもポーポキは、みんなの側に…。



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 71

今月のテーマは、ストレッチをしながら本を読むこと！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、立ちましょう。本を自分の左側において、そこまで体を伸ばしながら読みましょう！もちろん、ひざ立ちでとっても良いです。反対側にもトライしてみてくださいね。
3. 次は、手を上へ伸ばし、顔を上げないで、眼を上へ動かしてみましょう。
4. 今度は足の間に本を置きましょう。足のうしろから本を持つことができますか？足の前で本を持つても良いですよ。
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？

次回のポー会 5月15日(木) 神戸YMCA 19:00～ Rm. 306

5.9-11 ポーポキ in フクシマ

5.17 ポーポキ at 畿央大学

6.1 ポーポキ at 灘チャレンジ！ポーポキのブース、ミニステージ、展示！10:00～16:00  
神戸市灘区都賀川公園

6.13 ポーポキと一緒に平和と健康を考えるワークショップ 大阪アクティヴスタジオ  
18:30～20:00

7.12 ポーポキ at こどもの里 大阪市西成区 10:00～12:00

8.5 ポーポキと一緒に平和を考える 国際理解教育・開発教育研修会 JICA関西

8.6 ポーポキはヒロシマを忘れない！ シャドー&スカイブ



# Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. [kansaiscene.com](http://kansaiscene.com)
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色？』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 1 0 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





# 私にとってのポーポキ

バシール ウッデン



ポーポキの記事を書くことはいつも楽しい。でも、桜の咲く4月に書くことは特に楽しい。私はたくさんのポーポキの友だちが桜を見に来るのを見る。日本ではこの季節が来ると、桜の木の下で花を見ながら宴会を楽しむ。花見をするのは、人間だけなのだろうか？動物はどうだろうか？ポーポキには動物と人間の友達がいる。だから私は、両方ともが花見を楽しんでいると思う。

私の住む新神戸という町の川沿いに大きな公園がある。そこでは毎年4月になると、たくさんのポーポキの人間友だちが、花見をしに会社の同僚や友達、家族で集まる。彼らはそこで、ピクニックをしたり、バーベキューをしたり、飲んだり騒いだり、時には歌を歌う。野良猫や犬や鳥など動物の友だちも花見を楽しんでいる。花見をしている彼らはとても幸せそうに見える。それは平和の象徴なのかもしれない。



花見は日本の歴史的行事である。それは寒い冬から春になることを歓迎するために行われた。千年以上前から人々は桜の下で、素敵な景色を眺めながら和歌を詠むなどをして、楽しんでいたと言われている。そのような行事は奈良時代から始まり、平安時代にはより多くの人に浸透した。そして平安時代には朝廷などでしか行われなかった花見は、江戸時代には侍にも広まり、今現在の花見の形になっていった。

日本人は花見が大好きです。だから、彼らは桜の木をアメリカにプレゼントした。そして今ではアメリカに住む人々も花見を楽しんでいる。

やはり私にとって花見は、幸せと平和の象徴である。

私は満開の桜の木を見たときポーポキからの詩のようなメッセージが聞こえたように思う。

あなたは一人ではない

あなたには私がいる

私と一緒に平和の木の下を歩きましょう

桜のアーケードが春の訪れと共に私たちを待っている…。





さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!